

刊夕 日四月六

常 新 日 報 警 常

定価 一冊五錢 月刊五拾錢 郵費五拾錢
廣告料 五拾七字 一頁五拾錢
日曜・祭日の翌日休刊
発行所 常新日報社 東京市本郷区三軒三丁目
電話 六三〇〇
印刷所 常新日報社 東京市本郷区三軒三丁目
電話 六三〇〇

最も根本的

なもの

篠山 廉

けれども、もう一邊よく考へ返して見ると、やつぱり児童に對する眞の愛情の力は、依然として、彼等の教育に絶對的に必要を前提であることを知らなければならぬ。この愛情は、一見父兄や教師を盲目にするやうにも考へられたが、又盲目にした例も頗る多いが、然も單なる聰明——兒童の何たるかを知ると云ふことのみでは、たとひ、その取扱が適當であつても、そこに教育の生命がない。一切の教育的活動と努力に眞の生命あらしめるものは、やつぱり平凡ではあるが、その子に對する愛情である。極端に云へば、これを持つことの出来ない、如何に努

ノート

猫の嗅覺はとても鋭敏である、彼はぐつすり眼つめてゐても臭ひで眼をさます程である。

力してもこれを有することの出来ない人は、父母たり教師たるに適しないと云つても過言でない。愛情は結局、教育上一切

の活動の根本である。

四

私は自分自身の今日に於て自分の父母祖父母のしてくれた一々について、今なほ一般に感謝するの情がいやまして来るのみならず、父母祖父母の何心なくした行動が、私の今日までの生

★000000000000
○明日の献立○
★000000000000★
【朝】味噌汁——ささぎ牛蒡 小付 ふな鉛やき
【晝】カステラ 紅茶レモン
【晚】とわやき 鶏肉 胡瓜 清汁 流し玉子

活の様式や原理の上に生きて居り、私の爲に私の當時の反抗心にもかゝらず、要求し甚しきは強制したことが、今日いひ知れぬ感謝の情となつたかみとを以て今日の生活乃至思想感情を支配して居ることを、ますます鮮かに感じて居る。

父母祖父母の道徳的態度は固より、宗教的態度、趣味尚等有ゆる範圍の人生生活に亘つて、これが益々私の中に強い力となつて居ることを感ずること切である。

それ故に、私として世の父兄母姉に切實に希望する唯一最大のものは、やつぱり何人も云ひ古したこのことに過ぎない。そしてこの基礎の上に、一切の第二義的、第三義的の努力がなされるべきだと思ふ。



花のごと手にとらむとや蝶を追ふ幼なごころはとももしろかも

野田 しげる

春の野のうら若草を餘念なく摘む兒と居りて心なごめり

道の邊のくねなる深き落椿拾ひ遊びぬ幼き人とつばき草にぬきつゝ遊ぶ幼兒

幼兒のをさな心をめでにつゝ吾はも遊ぶ椿拾ひて連りて遠ゆく汽車の過ぎ行けば手打ち喜ぶ幼兒のとも

看護婦急派

求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

樽詰の生ビール

生シヨッキ 四合入 金四十五錢
キリン瓶詰 三合五勺入 金五十錢

平會館

電 6 2 4

株 債 券

株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下さい

丸井株式会社

平町南町 七十三
電話 四六六番

◆水戸市井傳醬油店特ニ醸醬油一手卸販賣イタシマス
御取引御希望ノ方ハ御報次第店員參上致サセマス
◆外務員募集

自轉車は左記

有名車を御撰擇下さい

- ◎宮田ノ自轉車 世界的ニ進出セル
- ◎風ニ堅牢輕快ノ定評アル
- ◎ゼブラノ自轉車 實用經濟車トシテ好評アル
- ◎マーツ自轉車
- ◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商權を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様の御了解を得ん

宮田代理店 エビスヤ商店
ゼブラ代理店
マーツ代理店
電話 六六四

優良投資株式賣出

商號 富國鑛業株式會社
本社 東京市京橋區東京ビル五階
電話(三七九・四四五・三六六)

資本金 壹百萬圓
鑛種 金、銀、銅、鐵、ニッケル鑛
鑛區 田村郡飯豊村、御館村外數村
精鍊 白金、ニッケルノ檢出精鍊
特色 嘗テ各新聞紙上ニ於テ發表サレ既ニ御承知ノ通り本縣石川中學校教諭菅谷氏ノ献身的研究ニヨリ從來不可能視セラレタル最靈基性岩石ヨリ白金、ニッケルノ檢出精鍊ニ成功シ我國化學工業軍需工業ニ一新紀元ヲ劃シ各方面ヨリ期待セラレ最近社會狀勢ニ乘ジ頓ニ進展セル有望事業ナリ

取扱店 大福湯本證券會社

湯本町驛前 電話六十七番
平出張所
平町大町通り三共商會會社
電話三六〇番

青葉にむせぶ行樂は...

絶對他に誇る幾多の經驗コース
定評ある旅行者の良きガイド
……先づプランを御相談致しませう……

不二タクシー

東京鐵道局公認
電話三二番
△東北六縣走破・富士五湖箱根伊豆半島一周等は経験コースとして獨り吾々保持するところ也△

平小鐵道測量

愈よ本日開始

經由地を極秘に附して

平小鐵道が何れの地點を經由するかは地方民の最も大きい關心の的となつて居るが東部鐵道測量班の一行十餘名は昨日來平新川町旅館正月屋を臨時事務所に着て愈よ今日雨を衝きつゝ先づ平方部から實測に着手した經由線は地方民の爭奪運動を懼れ何れに決定したか絶對極秘に附されて居る

社會事業資金に

五百圓寄贈

高久村出身青島貞安氏は大正六年渡滿し奉天回生病院を經營隆盛を極めて居たが今回惜しくも逝去したので嗣子遺島達丸氏は故人の遺志に依り本縣社會事業資金として五百圓を寄贈した

旭住職が郡内行脚

淨財募集に

關ヶ井嶽藥師堂の復興に就いて住職旭純榮師は豫てより縣内外から淨財の募集に努め此程歸山したが更に郡内からの寄附募集のため各町村の行脚を開始した

第二校が大勝

中學校對平第二小學校の戰

各校の

虫歯豫防

けふ夫々訓話

今日日は全國齲齒豫防デーなので平町各小學校は夫々の如き豫防訓話を試みた
△第一校 尋四以下と尋五以上と分けて講堂で學校長より訓話 △第二校 尋二以上佐藤齒科校醫の訓話 宣傳ビラ配布 公

是れも又

虫歯揃へ

第三校 學校長より訓話
第二校の口腔検査
平小學校では今日日の全國齲齒豫防デーに際し過般の口腔検査の結果表を兒童に配布したが同校兒童中虫歯のない者は僅か百九十一名で百人中八十七名は虫歯

冷害の義捐金を

米、麥に代へて

永戸村貧困者に分配

永戸組合村は本郡の冷害村として過般三井、三菱より義捐金百二十六圓を贈られた外伊勢四日市の製油所からは油粕二十二俵の寄贈を受けたので去る一日午前十時から役場内に村議區長等の協議會を開き村内の貧困者を調査の上是れを米麥に代へて分配する事に決定した

永戸教授研究

永戸箕輪方部各小學校教員は去

患者である因に學年別口腔状態左の如し
(尋一)甲五四 乙二二九
(尋二)甲五四 乙二二四
(尋三)甲六四 乙一
一七(尋四)甲八八 乙一
〇九(尋五)甲八五 乙八
五(尋六)甲一三四 乙八
七 丙一(高一)甲六六
乙八九 丙四(高二)甲九
五 乙六六 丙一

磐女校の

六月行事

警城高等女學校の六月中の主なる行事左の如し
(四日)虫歯豫防デー(七日)校内庭球大會(十日)時の記念日(十一日)排球大會(十二日)海人草服用(十五日)陸上競技大會(十九日)籠球大會(二十三日)健康相談日

夏井村會招集

村は本四日午後二時から村會を招集して青年學校設置に伴ふ追加豫算及び警備費追加豫算其の他を附議した

平町人妻

△鎌田町二七 森田市次郎氏(五〇)田村郡小野新町

仲町佐藤トク(三二) 回死 亡
△紺屋町二六 阿相季子(三三)

東京短期(前場)

寄付	大引	高値	安値
新東	一三三	一三三	一三三
大新	八三	八三	八三
新新	三三	三三	三三
新新	二二	二二	二二
新新	一一	一一	一一
新新	〇〇	〇〇	〇〇
新新	九九	九九	九九
新新	八八	八八	八八
新新	七七	七七	七七
新新	六六	六六	六六
新新	五五	五五	五五
新新	四四	四四	四四
新新	三三	三三	三三
新新	二二	二二	二二
新新	一一	一一	一一
新新	〇〇	〇〇	〇〇

期米

東	京	大	阪
一節	二五三	二五三	二五三
二節	二五三	二五三	二五三
三節	二五三	二五三	二五三
四節	二五三	二五三	二五三
五節	二五三	二五三	二五三
六節	二五三	二五三	二五三
七節	二五三	二五三	二五三
八節	二五三	二五三	二五三
九節	二五三	二五三	二五三
十節	二五三	二五三	二五三

度有難うございます
エビフライ
ピフテキ

女給數名募集
コンパル
平塚前新道通り
TEL・666

産人科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 立番彌一
藥局 藥劑師 佐竹菊雄

平町新川町十九
病室完備 入院隨意
木村病院
電話一六四番

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
町 妊産婦の御家庭 留守居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や雜用

派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二番)
上原家政婦會
會主 上原通子

わきがが
効力本位、官許良藥海外に
迄有名、價五十錢誰にも氣
付かれぬ様送る双葉郡浪江
下町西 田村本家

搔毬小路の踏切で

眞書間自殺を企つ

▽病弱な年増酌婦

再び主人の許に引渡さる

昨日午後三時十七分平野着下り列車が搔毬小路踏切に差懸つた際一名の婦人が突如踏切遮断器を潜つて線路に飛び込み自殺を企てたのを踏切番人が驚いて引止め平野に引渡したが同女は小名濱町字中坪飲食店小林屋

放火を否認

頑張り続ける

弓場の留守番爺さん

平町一丁目腰弓會大弓場表入口へ放火した平町舊城跡三無職塚田竹之助(六)に係る放火事件の公判は今日午前十時卅分より平支部に於いて中島裁判長係り關口香西兩判事陪席清田檢事立會、門傳、市井兩辯護士列席の下に開廷事實の審理に入つた處被告は私は引越して終つてから正午過ぎまで舊城跡の自宅で知人とお茶飲み話して更つて居たので全然一丁目へは行かないし放火等した覚えがありませんと豫審の陳述を根本から否認し頑張り続け正午一先づ休憩に入つた

偽名として

丸帯騙取

赤井驛前小野キン(五)は昨年八月平町田町呉服店宮川三郎方から赤井村字高萩の吉田トシと欺稱して時價五圓餘の丸帯を騙取した事發覺し昨日平署に檢舉されたが餘罪あるらしいと

土地賣買で

地塗れ騒ぎ

上小川村字高崎一五八農高木政行(三)は去月卅一日夜知人である同村の高木與三郎(三)と共に平町搔毬小路

幼児を

刎ね飛し

遂に重傷死

小名濱町字古港岸野自動車店方運轉手佐藤眞(三)は去る二日午後二時頃双葉郡廣野村字下淺見川地内で同村

小田氏の拘引は

贈賄の嫌疑から

小野田の戸部氏と共にセメントと疑獄から飛火

好間村隅田川炭礦主小田吉次(五)氏は大阪鐵道局書記石倉喜市に對し贈賄した嫌疑で昨日大阪府刑事課より出張した澤井、川村兩判事に拘引され刑事付き添ひで當日大阪に押送されたが大坂鐵道局セメント疑獄事件の被疑者である前記石倉は鐵道省購買課在職中鐵道納炭の事務を受持つて居た

明日のラジオ

五 日

天 氣 報 雨模様

今晩は西東の風 明日は南東の風

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「鱈島征伐」
- 後六、二五 青年の時間 「商工青年に與ふ」渡邊龍聖
- 後七、三〇 「北洋漁場に於ける邦人の活動」平塚常次郎
- 後八、〇〇 四重唱とアコ
- 松本安明次男健(三)を刎ね飛ばし死亡せしめた

灰取の不始末

一戸全焼

勿來町字四澤農小野富治氏方から昨日午前十一時頃發火同家一戸を全焼して正午鎮火したが原因は灰取の不始末で損害五百圓

遂に残るは一個

今朝二死體を發掘

既報ガス爆發遭難者五十餘名の合同社葬を終へた入山礦業所では早速今晩一時より未だ發掘されぬ三名の屍體搬出作業を繼續した結果午前七時半頃齊藤巧、警崎周作兩名の折り重なつた慘死體を發見殘る最後の一人青木春吉も本日に發見する意氣込みで必死となつて居る

平裁判たより

△石城郡四倉町字仲町四番地自動車運轉者政井賢松(三)は去る二月二十八日午後零時四十分頃好間村大字下好間字沼田地内をトラックを運轉疾走中木田勝三(一)に追突全治四十日の頭蓋骨折を負はせ業務上過失傷害罪にて平區香西判事より略式罰金四十圓に處された

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番

△鐵道入夫 五十迄 日給七十錢位迄

△農夫 三十二才 尋卒

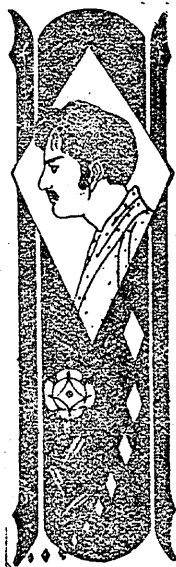
△料理人 三十六才 尋卒

△女中 十九才 高女卒

△書生 十六才 高卒

△火夫 三十八才 尋三修

- 語講座(四の三)A
- 前七、〇〇 朝の修養(修
- 證義)(四)岡田宣法
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前九、一〇 料理献立(秋
- 田淺漬ちまき)荻津とき
- 前二〇、三〇 婦人の時間
- 「汗と香粧品」理學博士高岡齊
- 後〇、〇五 説教節安珍清
- 姫日高川淨るり若松小若
- 太夫
- 後二、〇〇 婦人講座「生
- 花と盛花」三安達潮花
- 後二、四〇 小學生の時間
- 高二理科「バクテリア」の
- 話」柏木正章
- 後三、一〇 教師の時間
- 「教授と訓育」熊井甚太郎
- 後六、〇〇 子供の時間
- 獨唱と管絃樂獨唱堀江す
- るグリーションサロンオーケ
- ストラ
- 後六、二五 基礎英語講座
- (二十五)岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演海軍當局
- 後八、〇〇 謠曲 黒塚實
- 生新外
- 後八、三〇 新内戀娘昔八
- 丈城木屋段富士松佐賀屋
- 後八、五〇 連續ラヂオド
- ラマ「富士に立つ影」三前
- 進座河原崎長十郎外大勢
- に亘り同工場作業場より銅
- 線鉛板(價格三十四圓)を
- 窃取しまた同工場佐々木飯
- 場内岩手縣生れ土木小野寺
- 正夫(二)が八回に亘り避雷
- 針銅線鉛板等(價格百二十
- 圓七十二錢)を窃取した事
- 件は平區にて豫審終結近く
- 公判に附さるゝ事になつた
- 平職業紹介所報告
- 回人を求める方
- △農夫 三十以下 日給七
- 十錢
- △雜夫 二十前後 月十圓
- △女中 二十三才 尋卒
- 月五六圓



明治太平記

(上巻新編)

(作) 寺島樞史
(畫) 野口

第四百十回

情 艶 (七)

仇討願望の、これも時世に取残された女を、胸中にたゞみこんで、助太刀稼業の最初の取引を結ぼうといふ、熱情に動かされて居つたうちは、女の容姿、女の感情の動き……は眼中になかつたのだが、さて、一度その熱情を失つてからは、眼中になつた女が、女の容姿、女らしい感情の動きが、はつきり印象され、追憶されてくれるのだ。今はもう大志賀ほどの男も、おとわの幻を片時も忘るゝことが出来なかつた。

おれは、こんな情ない男になつたのか。自分に呆れて、吐き出すやうに呟くそのあとで、不思議に募る懐情だ。

馬鹿な！
くるはしくおのれを叱つて、そして、戀々としておとわのありかを尋ねるのだつた。

おとわを、見つけ出して仇討をさせなければならぬ。云ふのは、今は、大志賀の本音ではない。

とわを見つけたら、つと御法度の仇討をなさせるものか、雛鳥を抱くやうに、そつと抱いて死ぬる程愛してやらふといふのが口へは出さぬが、大志賀の唯一の希望だつた。

やはり、東京だ。さう思つて、舞戻つたのだ。が、東京、ことに築地界隈でおとわを探すことは一層の危険だつた。彰義隊再舉をたくらんだり、大官刺害を陰謀したりしてをる間は、身邊の危険などかへり見る程弱くはなかつたが、おとわを、戀慕する情ない男になつてしまつてからは、三尺棒を持つた巡邏にさへ恐れるのだつた。



あけて東京へ舞戻つた大志賀は巡邏の眼をぬすみ、闇から闇をぬふて、築地界隈を出没して居つた。横濱の居留地を、身の危難を忘れ限なく尋ね廻つたが英四番館は勿論、外國商館にさへおとわはひそんで居らなかつた。

有様。したがつて、此の姿で、築地界隈を彷徨するのだから、眞晝間は、到底むづかしい。夜……夜だけがこの、世に脊く男を、僅に生かしてくれるのだ。大志賀は、今宵も、築地ホテル館附近の、夜の灯のとどかぬあたりを徘徊して

をつた。或ひは、こゝに、再び圍はれてをるのであるまいか。昨日も、今日も、ホテル館の二階から洩れる燈火を見上げて、大志賀は心に呟いた。

……きつと、あの二階の明るい窓が、おとわが、俺を招く眼だ。だん／＼、思が募ると、その明るい窓に、強い誘惑を感じた。夜が更けて、大志賀は、勝手を知つたホテル館の内へ、どこからか、まんなと忍び込んでしまつた。

美味！
芳醇！
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

磐城セメント會社特約店

大倉屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は 〆の生命なり

五月武者人形 大賣出し

御座敷幟、布鯉、鎧、兜
諸道具類一式

例年の通り豊富陳列致しました。是非御一覽之程御待ち願ひます。値段は特に勉強いたします。但珍物として勿來關人形、銚絨鎧
平町三丁目東通

叶・加藤商店

新車御披露

素晴しい乗心地の!!!
三十五年式流線型新車が
参りました
是非御試乗御利用の程を御願申します

平 二
三井タクシー
電話六八五番

外科

門 專 光 X
科 線

上田外科醫院

平町南町
電話一二九番

内科

川井内科診療所

平南町(電話二四三)
川井 安子